

小国春熊猟

2016

山形県小国マタギの密着ドキュメンタリー

日時

2018年 **6月21日** **木**
開映18:00 (開場17:30)

会場

東京外国語大学
アグラ・グローバル/プロメテウス・ホール
東京都府中市朝日町3-11-1、西武多摩川線「多磨駅」徒歩5分

その他

入場：無料／先着順／申込み不要 (定員501名)
主催：東京外国語大学
協力：欽藍社、山形県小国町猟友会沖庭班、
3がつ11にちをわすれないためにセンター、
ジビエ料理 アンザイ

詳細は TUFS Cinema ウェブサイトにて
<https://tufscinema.jp/>



プログラム

- 映画『小国春熊猟2016』本編上映(124分)
- フリートーク (50分)
林剛平 監督 (欽藍社/日本学術振興会特別研究員)
岡添桃子 (本学国際社会学部西南ヨーロッパ地域専攻)
司会: 大石高典 (本学現代アフリカ地域研究センター講師)

[上映作品情報]

2011年3月11日に発生した地震と津波は山形県に直接影響を与えませんでした。しかし、原子力災害による放射能汚染の問題により、2016年4月1日に制限が解除されるまで、小国町の熊祭りでは、汚染がほとんどなくても熊鍋をふるまえませんでした。研究者である記録者が、東北地方の山間地帯で彼らの伝統を支えている熊と山衆(マタギ)を、調査の傍ら撮影しました。3.11以降の、東北地方の文化的側面である山の幸の記録です。小国の山衆が、自らの足で山から幸を運び、人々と分かち合うことを喜びとしている記録です。

山形国際ドキュメンタリー映画祭cinema with us公式招待作品(2017)。

[監督・撮影・編集] 林剛平
日本 / 2016 / 日本語/カラー/ブルーレイ/ 124分